

トピックス…④

本会が全国3カ所で

酪農教育ファームスキルアップ研修会

本会は9月19日の東京を皮切りに全国3カ所で、酪農教育ファーム活動に取り組んでいる酪農教育ファームファシリテーターを対象とした酪農教育ファームスキルアップ研修会を開いた。

● 東京会場には酪農家ら39人が参加

9月19日は東京・八重洲のTKP東京駅ビジネスセンターで研修会を開き、酪農家、公共牧場など酪農教育ファーム活動に携わる39人が参加した。

酪農教育ファームの認証制度は平成20年4月1日から改正された。具体的には、酪農教育ファーム活動が安全に行える場(牧場)と、活動を行う人(ファシリテーター)の2つの要件がそろっていることが認証要件となり、20年度末で407人がファシリテーターに認証されている。

ファシリテーターに認証された人は3年に1回、スキルアップ研修会の受講義務が課され、受講した場合に認証が更新、3年間延長される。

東京会場で主催者あいさつした門谷廣茂専務は、「20年度は酪農教育ファーム認証牧場に70万人以上が来場している。酪農教育ファーム活動は20年度に認証制度の仕組みを変え、認証対象を『牧場』と『人』の2つに変更した。現在、全国で407人がファシリテーターとして活動しているが、認証から時間が経過し、もう少し高度な活動を実施したいというニーズに対応し、酪農教育ファーム活動の質をより一層高めることを目的として、スキルアップ研修会を開催することになった。今日の研修会で酪農教育ファーム活動の現状を確認し、酪農体験学習活動における教育的効果の発現の仕方などを学ぶことにつながれば幸いです」と述べた。



● 学びの視点テーマにディスカッション

研修会では、中酪事務局から酪農教育ファームの活動状況が説明された後、埼玉県秩父郡小鹿野町の酪農家・吉田恭寛さん・英子さん夫婦が、地元の子もたちを牧場に招いて実施した酪農教育ファーム活動を撮影したビデオを上映した。



講師の野田敦敬愛知教育大学教授が「酪農教育ファーム活動における学びの視点」をテーマに講演し、どのようにしたら酪農家の思いが子どもたちに伝わるのかを自ら考える重要性を指摘しました。

講演後には会場で、野田教授、吉田恭寛さんが参加し、出席者が3班に分かれてグループワークを行い、各班の代表が議論の内容を発表、前田浩史本会事務局長の司会進行で活発なディスカッションを行った。

なお、スキルアップ研修会は、東京会場の後に10月13日に札幌市、11月2日に福岡市でそれぞれ開催された。

